

思いを込めた作品を「ろうそくまつり」に奉納しませんか 高野山駅で“キャンドルづくり”体験

参加無料!

南海電鉄(社長:遠北 光彦)では、高野山で毎年お盆に実施される「ろうそくまつり」にあわせ、オリジナルキャンドルを制作して奉納できるイベントを実施します。夏の気温が大阪市内に比べ涼しいといわれる高野山で、今年のお盆は普段と違う体験をしてみませんか。詳細は以下のとおりです。

1. キャンドルづくり体験について

(1) 日時

平成28年8月12日(金)、13日(土)
10時~16時(両日とも)

(2) 場所

南海電鉄高野山駅2階
(所在地:和歌山県伊都郡高野町)

(3) 参加費

無料

(4) 内容

高野山奥之院や金剛峯寺で使用したろうそくを再利用し、色や香りを入れたオリジナルキャンドルが手作りできます。(申し込み不要、先着順)

(5) 指導

荒川由美さん(「高野 candle」製造・販売)

※「高野 candle」について

高野山奥之院の使用済のろうそくを再利用したキャンドルを5年前から奉納しています。また、販売用の「高野 candle」は、高野山の蜂の巣から蜜蝋を作り、その一部を使用したキャンドルを製造・販売しています。

なお、高野町の特産高野紙、薄板を使用したランタンキャンドルは、平成27年度「プレミアム和歌山」に認定されました。



2. ろうそくまつり(萬燈供養会)への奉納について

一の橋から奥之院までの聖域2キロの参道に10万本のろうそくを並べ、先祖をはじめ奥之院に眠る全ての御霊を供養するろうそくまつりに、高野山駅で制作したオリジナルキャンドルを灯して奉納していただけます。

(1) 日時

平成28年8月13日(土)
19時~21時

(2) 奉納場所

えいれいでん
英霊殿 付近（奥の院前バス停下車約10分）



オリジナルキャンドル専用奉納場所

ご参考 ろうそくまつりについて

一の橋から奥之院までの聖域2キロの参道に10万本のろうそくを並べ、先祖をはじめ奥之院に眠る全ての御霊を供養するお祭りです。

道に設けられた各ポイントで無料で配られるろうそくを沿道に並べ、光を灯すと、そこには幻想的な世界が広がり、参拝者はその灯りの中に先祖を思い浮かべ、お盆の送り火とします。

また、優しく揺れるろうそくが作る光の道に、安寧を覚えることと思います。ろうそくのほかには、祈りを込めて灯りをともす「祈心灯（きしんとう）」や静けさの中にしっかりと夜道を照らす置燈籠（おきどうろう）が並び、参道は荘厳な雰囲気になります。

このろうそくの火は、1000年続く「貧女（ひんによ）の一燈」から火をお分けいただき、10万本のろうそくを移していきます。平和を願うその思いが、1000年の時を超えて受け継がれ、お参りをいただいた皆様の心に広がっていくことを願います。



以上